



彩と共に豊かな暮らしへ
日本ピグメント



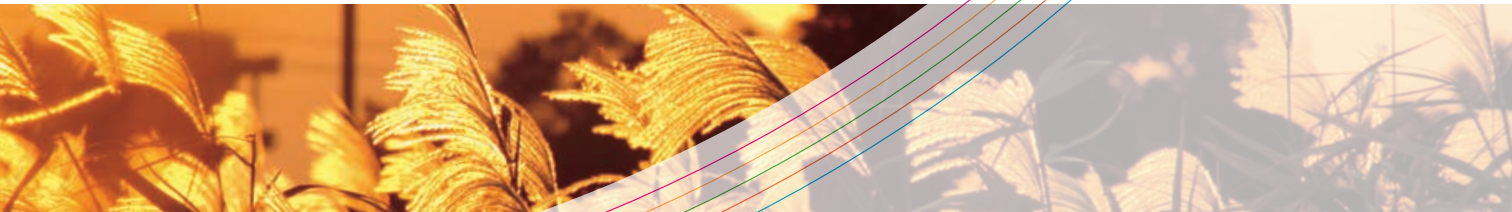
Interim Business Report

第83期 中間報告書 2018.4.1▶2018.9.30



 **日本ピグメント株式会社**

証券コード：4119



株主のみなさまへ



取締役社長 加藤 龍巳

ごあいさつ

株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第83期上半期（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の「ビジネスレポート」をお届けいたします。

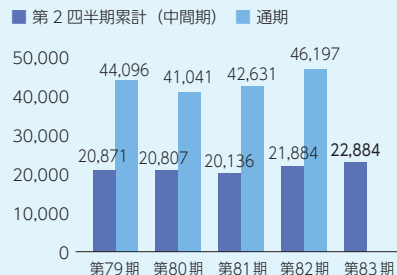
当社グループでは、2016年3月に中期経営計画「Challenge2020」ーボードレス化への再編と新生へのステップーを公表し、2020年までの5年間で「次世代の柱を確立し、持続的成長への土台を固める5年」としており、3つの基本方針「①次世代に向けた成長戦略の舵取り」「②経営基盤の強化」「③ブランド価値向上」を掲げ推進しております。

当社グループは、中期経営計画「Challenge2020」の3年目として、経営基盤を充実させていく所存です。また、液体分散体の今後の需要増に対応するため、埼玉県児玉郡に新工場の建設を進めてまいりましたが、本年12月中旬に「埼玉児玉工場」として竣工の運びとなりましたので合わせてお知らせいたします。中期経営計画の推進、新工場の本格稼働など、引き続き企業価値向上を図るべく、取り組んで参る所存です。株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

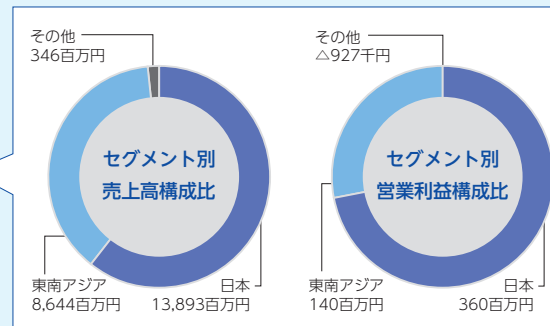
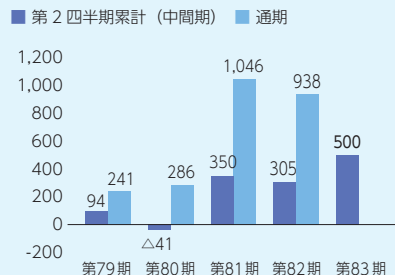
2018年12月

■ 連結業績ハイライト

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



第83期上半期の業績

【日本】

国内部門別の概況として

樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向けエンジニアリングプラスチックを中心に、堅調に推移し、生産効率の改善もあり部門営業利益は昨年を上回りました。

樹脂用着色剤部門は、一部のフィルム関連および繊維関連等が比較的堅調に推移し、部門営業利益は昨年を上回る結果となりました。

最後に、加工カラー部門は、自動車産業向けは底堅かったものの、建材産業向け等が伸び悩み、想定を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は138億9千3百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益は3億6千万円（前年同期比81.3%増）となりました。

【東南アジア】

海外子会社3社：シンガポール、マレーシア（2拠点）、インドネシア（2工場）

東南アジアは、前期に続き家電産業向けの受注が好調であったものの、自動車産業向けで伸び悩んだことから全体としては販売減となりました。当第2四半期連結累計期間の売上高は、86億4千4百万円（前年同期比2.4%減）となりましたが、為替変動並びに販売構成の影響もあり営業利益は1億4千万円（前年同期比13.2%増）となりました。

【その他】

その他は、中国での日系自動車関連の受注の回復もあり、当第2

四半期連結累計期間の売上高は3億4千6百万円（前年同期比2.8%増）となり、営業損失は927千円（前年同期営業損失1千8百万円）となりました。

【全体】

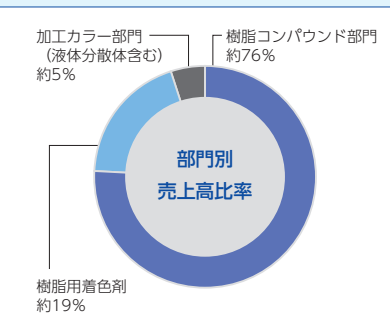
当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は228億8千4百万円（前年同期比4.6%増）、経常利益は5億5百万円（前年同期比28.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億2千8百万円（前年同期比24.2%増）となりました。

今後の見通し

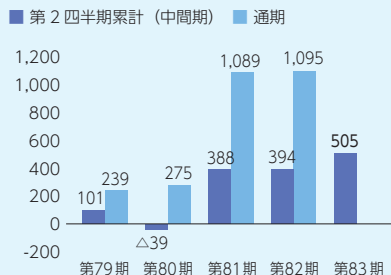
下期の業績につきましては、国内の販売は、一部樹脂コンパウンドの需要に一服感もありますが、全体の需要は引き続き堅調に推移するものと予想しており、東南アジア地区もマレーシアを中心に概ね順調に推移するものと見込んでおります。このようなことから、第83期の連結業績予想は5月11日に公表した予想を据え置いております。

通期の連結業績予想（2018年5月11日公表）

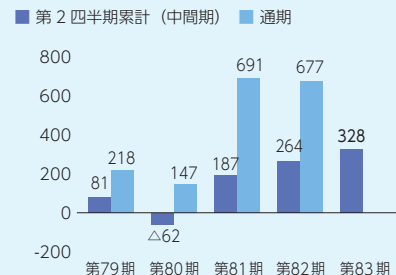
売上高	45,800百万円
営業利益	1,080百万円
経常利益	1,100百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	700百万円
期末配当金（予想）	80円



経常利益（百万円）



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益（百万円）



連結財務データ

■ 連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)

流動資産 15,321	流動負債 13,090	流動資産 14,994	流動負債 12,598
	固定負債 3,754		固定負債 4,614
固定資産 15,756	純資産 14,231	固定資産 16,568	純資産 14,350
資産合計 31,077	負債純資産合計 31,077	資産合計 31,563	負債純資産合計 31,563
前期末 (2018年3月31日現在)		当第2四半期末 (2018年9月30日現在)	



POINT1 流動資産について

流動資産は149億9千4百万円と前期末の153億2千1百万円に比べ3億2千6百万円の減少となりました。この主な要因は現金及び預金が8千9百万円、受取手形及び売掛金が7億1千2百万円それぞれ減少、製品が3億2千3百万円、原材料及び貯蔵品が1億5千7百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

POINT2 固定資産について

固定資産は165億6千8百万円と前期末の157億5千6百万円に比べ8億1千1百万円の増加となりました。この主な要因は有形固定資産が4億9千5百万円、投資有価証券が1億8千5百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

POINT3 流動負債について

流動負債は125億9千8百万円と前期末の130億9千万円に比べ4億9千2百万円の減少となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が4億1千3百万円減少したことなどによるものです。

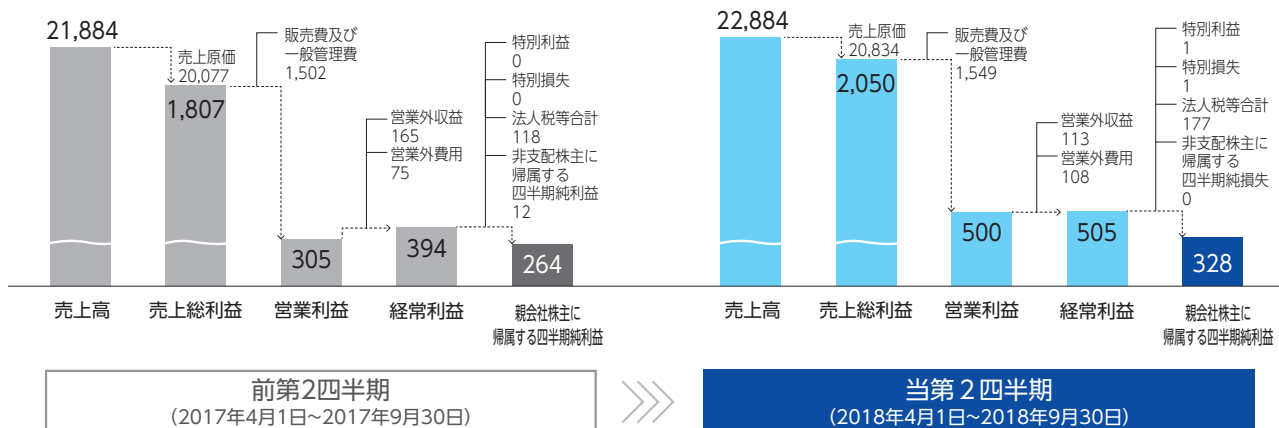
POINT4 固定負債について

固定負債は46億1千4百万円と前期末の37億5千4百万円に比べ8億5千9百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金が増加したことなどによるものです。

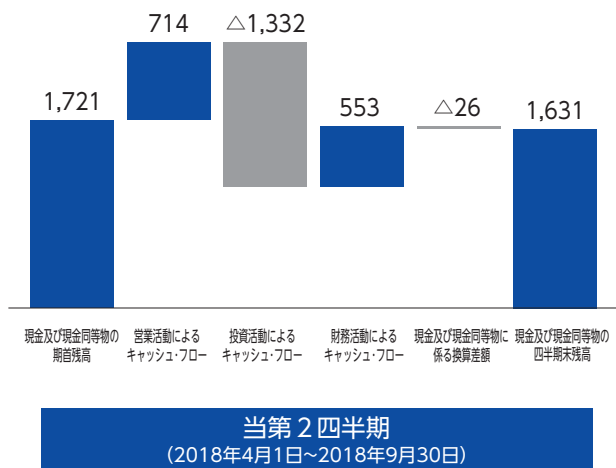
POINT5 純資産について

純資産合計は143億5千万円と前期末の142億3千1百万円に比べ1億1千8百万円の増加となりました。この主な要因は利益剰余金が2億2百万円、その他有価証券評価差額金が1億9千4百万円それぞれ増加し、為替換算調整勘定が2億2千7百万円、非支配株主持分が7千7百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

■ 連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



POINT6 営業活動による キャッシュ・フローについて

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金の収入は前年同四半期連結累計期間と比べ1億6千1百万円減少し、7億1千4百万円となりました。これは、仕入債務の減少等によるものです。

POINT7 投資活動による キャッシュ・フローについて

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金の支出は前年同四半期連結累計期間と比べ8億4千3百万円増加し、13億3千2百万円となりました。

POINT8 財務活動による キャッシュ・フローについて

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金の増加は5億5千3百万円となりました。前年同四半期連結累計期間は3億5千2百万円の減少でした。

グローバルネットワーク

国内9拠点、海外8拠点とグローバルに展開しています。

中国 [上海]
上海新素材特種聚合物有限公司

中国 [天津]
天津碧美特工程塑料有限公司

シンガポール
Nippon Pigment (S) Pte. Ltd.

マレーシア[シャーラム]
Nippon Pigment (M) Sdn. Bhd.

マレーシア[ペナン]
Nippon Pigment (M) Sdn. Bhd.

インドネシア[ジャカルタ]
P.T.Nippisun Indonesia

韓国[平澤]
NPK Co.,Ltd.

韓国[亀尾]
NPK Co.,Ltd.



シンガポール
Nippon Pigment (S) Pte. Ltd.



マレーシア (ペナン工場)
Nippon Pigment (M) Sdn. Bhd.



マレーシア (シャーラム工場)
Nippon Pigment (M) Sdn. Bhd.



中国
天津碧美特工程塑料有限公司



インドネシア (FACTORY I)
P.T.Nippisun Indonesia



インドネシア (FACTORY II)
P.T.Nippisun Indonesia

韓国[平澤]
NPK Co.,Ltd.

韓国[亀尾]
NPK Co.,Ltd.

大阪工場
大阪支店

東京ピグメント
埼玉川本工場
ニッピ化成

本社・東京支店

名古屋ピグメント

名古屋支店

大阪ピグメント



大阪工場



名古屋ピグメント



東京ピグメント



大阪ピグメント



ニッピ化成



埼玉川本工場

会社の概要 (2018年9月30日現在)

概要

会 社 名	日本ピグメント株式会社 (Nippon Pigment Company Limited)
本 社 所 在 地	東京都千代田区神田錦町三丁目20番地
代 表 者	取締役社長 加藤 龍巳
創 業	1925年 (大正14年)
事 業 内 容	当社グループは各種樹脂コンパウンド、各種樹脂用着色剤、インキ塗料用着色剤、電子材料用着色剤液体分散体などの製造、販売を行っております。
資 本 金	14億8,115万円
株 式	東京証券取引所市場第二部上場
主要な事業目的	1. 各種樹脂、ゴム、繊維等の着色剤の製造および販売 2. 各種樹脂の加工および販売 (樹脂コンパウンド) 3. 各種着色剤の製造および販売 4. 各種インキ、塗料とそれら関連材料の製造および販売

役員ならびに執行役員

取締役社長	社長執行役員	加藤 龍巳	経営全般・内部監査室・購買部担当
専務取締役	専務執行役員	井手 譲司	経営管理本部・総務部・経理部・海外事業管理、法務コンプライアンス統括室・品質保証室担当
取締役	執行役員	平岡 正彦	生産本部長、中国事業担当
取締役	執行役員	今井 信一	総務部・経理部・システム部担当
取締役	執行役員	宮本 康弘	営業本部長
取締役	常勤監査等委員	三輪 幸一	
社外取締役	監査等委員	村松 伸一	
社外取締役	監査等委員	鈴木 洋子	
上 席 執 行 役 員		武田 聡	特命担当
執 行 役 員		古賀 義隆	総務部長兼法務コンプライアンス統括室長
執 行 役 員		田中 淳	生産本部副本部長
執 行 役 員		光枝 孝宗	営業本部副本部長兼樹脂コンパウンド統括部長
執 行 役 員		田代 喜一	営業本部副本部長
執 行 役 員		至田 順彦	経営管理本部兼経営企画部長
執 行 役 員		渡辺 紳司	開発本部長
執 行 役 員		奥本 隆巳	生産本部副本部長兼埼玉工場長

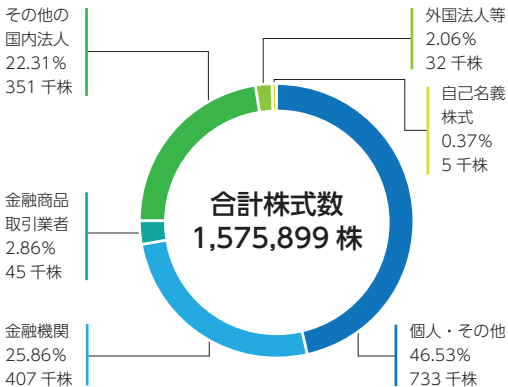
株式の状況

発行可能株式総数	3,000,000株
発行済株式総数	1,575,899株
自己株式数	5,862株
株主数	1,466名

大株主の状況

株主名 (上位10名)	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本ピグメント取引先持株会	160	10.25
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	104	6.65
株式会社みずほ銀行	78	4.97
株式会社十六銀行	69	4.45
日本化薬株式会社	51	3.31
東京海上日動火災保険株式会社	49	3.14
株式会社資生堂	49	3.13
三井住友信託銀行株式会社	43	2.79
東レ株式会社	35	2.29
長瀬産業株式会社	32	2.08

所有者別株式分布状況



株主メモ

■ 上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
■ 証券コード	4119
■ 単元株式数	100株
■ 事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
■ 定時株主総会	6月中
■ 基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日
■ 株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711（通話料無料） （郵送先） 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
■ 単元未満株式買取手数料 および買増手数料	無料
■ 公告掲載方法	電子公告といたします。 当社ホームページアドレス https://www.pigment.co.jp/ （ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。）

株式に関するお手続きについて

証券会社等でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社等
お手続き・ ご照会の内容	● 住所・氏名等のご変更 ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 配当金の受領方法の指定 等

※未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

特別口座に記録された株式をご所有の株主様

お手続き お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711（通話料無料） （郵送先） 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
-----------------	--

※特別口座では、株式の売却はできません。

売却するには、証券会社等に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

HPのご案内

詳しいIR情報は当社ホームページにて掲載しています。

<https://www.pigment.co.jp/>

日本ピグメント株式会社

検索

HPへの
QRコード



日本ピグメント株式会社

